

平成20年度
秋田県学習状況調査

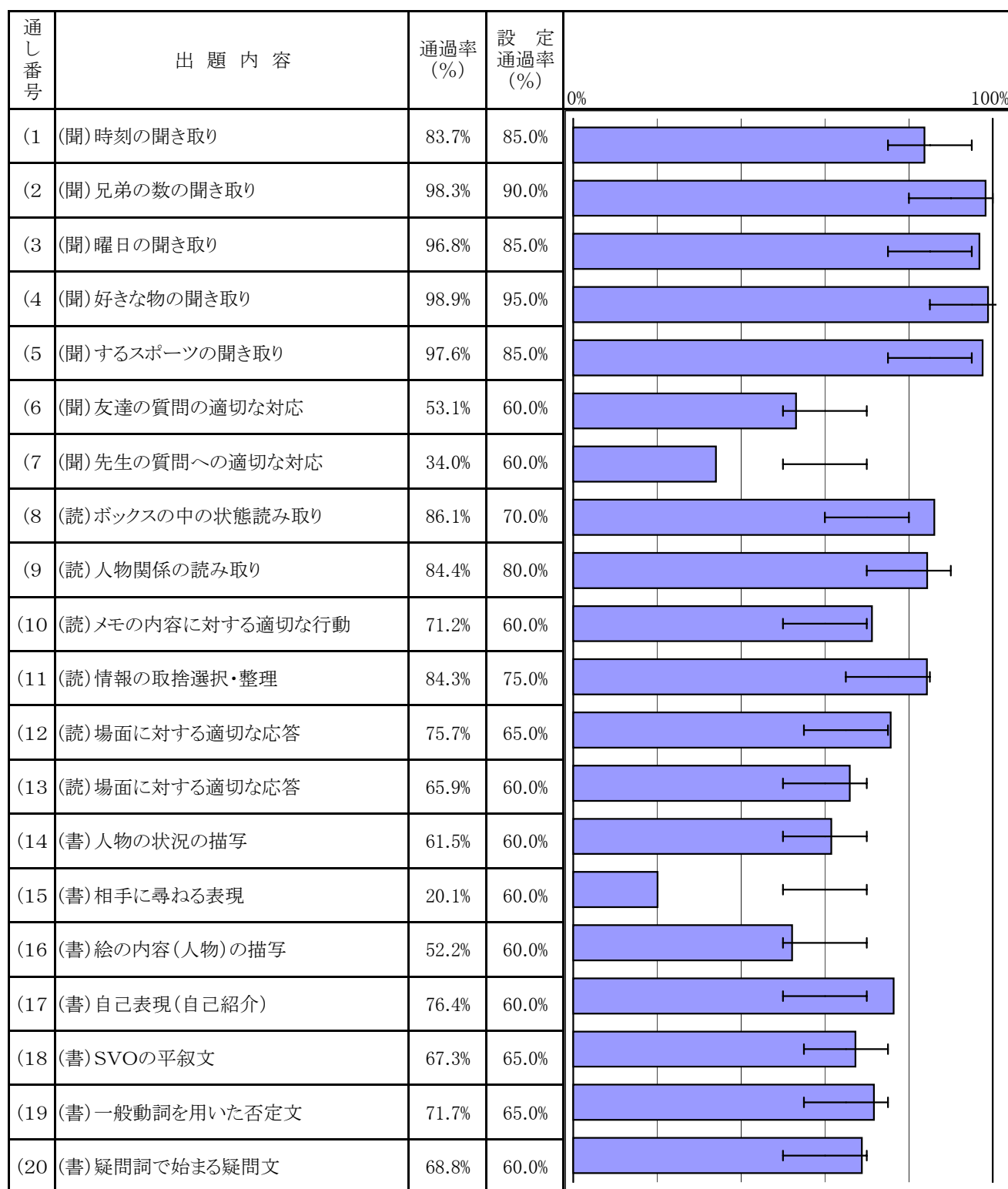
5 結果と考察 英語


平成20年度中学校学習状況調査 第1学年 英語 評価規準と評価の観点

領域	内 容	評 価 規 準		通し番号	観 点		
					表 現	理 解	知識・ 理解
聞くこと	ア(イ)	[正確な聞き取り]	・聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。	(1			
	ア(イ)	[適切な聞き取り]	・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5			
	ア(ウ)	[適切な聞き取り]	・質問や依頼などに対して、適切に応じることができる。	(6 (7			
読むこと	ウ(ウ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8			
	ウ(ウ)	[適切な読み取り]	・書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。	(9 (11			
	ウ(エ)	[適切な読み取り]	・伝言や手紙などに対して、適切に応じることができる。	(10			
	ウ(ウ)	[言語についての知識・理解]	・場面や状況にふさわしい表現を知っている。	(12 (13			
書くこと	エ(ウ)	[正確な筆記]	・文法にしたがって正しく書くことができる。	(14 (15 (16			
	エ(ウ)	[適切な筆記]	・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	(17			
	エ(ウ)	[言語についての知識・理解]	・文構造についての知識がある。	(18 (19 (20			

中学校1年 英語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 72.4%



※  は設定通過率±10%を示している。

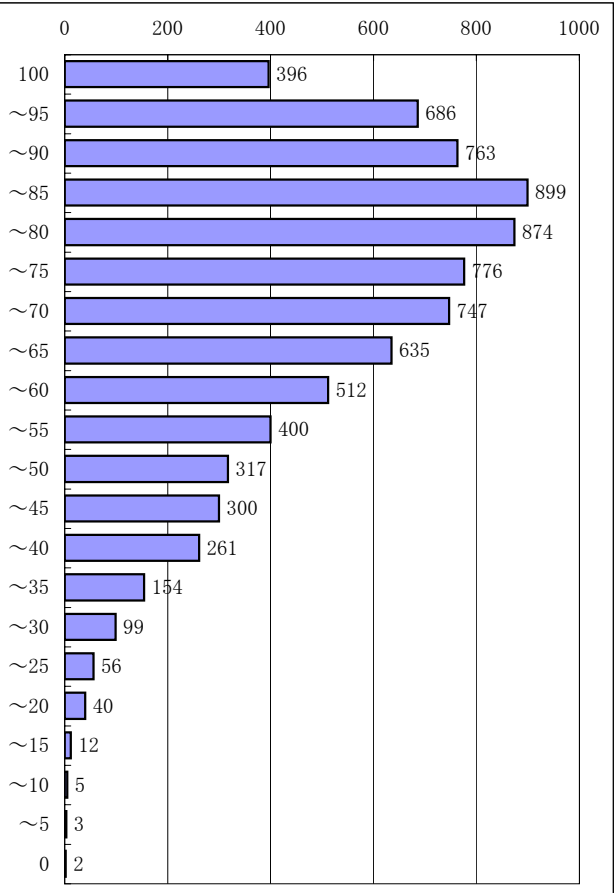
中学校1年 英語

小問別反応率

通し番号	1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
(1)	83.7%	16.2%	0.1%	4.4%
(2)	98.3%	1.6%	0.1%	0.0%
(3)	96.8%	3.1%	0.1%	0.0%
(4)	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%
(5)	97.6%	2.4%	0.0%	0.0%
(6)	53.1%	46.2%	0.7%	0.0%
(7)	34.0%	65.6%	0.4%	0.0%
(8)	86.1%	13.7%	0.1%	0.0%
(9)	84.4%	15.5%	0.2%	0.0%
(10)	71.2%	28.5%	0.3%	0.0%
(11)	84.3%	15.3%	0.4%	0.0%
(12)	75.7%	23.5%	0.8%	0.0%
(13)	65.9%	33.3%	0.9%	0.0%
(14)	61.5%	36.2%	2.4%	0.0%
(15)	20.1%	72.5%	7.3%	0.0%
(16)	52.2%	44.3%	3.5%	0.0%
(17)	76.4%	20.2%	3.4%	0.0%
(18)	67.3%	30.3%	2.4%	0.0%
(19)	71.7%	26.6%	1.7%	0.0%
(20)	68.8%	29.4%	1.8%	9.3%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均 通過率
100%	4	61	23	65	38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
95～100%	4	43	69	47	65	0	0	7	5	0	3	1	0	1	0	0	3	1	2	1	0
90～95%	17	12	23	3	12	1	0	29	22	1	16	6	2	1	0	0	6	4	5	3	0
85～90%	30	1	1	2	2	1	0	31	30	3	38	17	2	5	0	2	22	9	10	11	4
80～85%	29	0	1	0	0	1	0	30	30	11	34	22	11	1	0	2	23	9	7	7	5
75～80%	14	0	0	0	0	1	2	15	20	19	15	18	19	11	0	2	17	16	21	15	25
70～75%	12	0	0	0	0	4	1	3	9	30	7	17	12	13	0	7	20	15	23	17	44
65～70%	2	0	0	0	0	7	3	2	1	28	3	21	18	15	1	8	9	15	22	15	27
60～65%	1	0	0	0	0	10	2	0	0	15	0	6	11	18	2	13	6	11	10	12	9
55～60%	0	0	0	0	0	20	2	0	0	8	0	5	15	14	0	13	6	13	6	6	2
50～55%	0	0	0	0	0	31	8	0	0	2	0	3	14	17	1	19	2	7	2	10	1
45～50%	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	8	8	0	15	1	1	2	4	0
40～45%	0	0	0	0	0	13	9	0	0	0	0	1	3	4	3	3	1	4	3	4	0
35～40%	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0	0	0	1	4	3	13	0	4	1	1	0
30～35%	0	0	0	0	0	3	21	0	0	0	0	0	0	5	7	10	0	4	2	1	0
25～30%	0	0	0	0	0	3	23	0	0	0	0	0	0	0	12	4	0	1	0	1	0
20～25%	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	15	2	0	2	1	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	29	2	1	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	24	2	0	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0
0～5%	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	9	0
計	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117

※1学年20人以上データを提出した学校

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

(1) 設定通過率との比較

	全 体	観 点 別			領 域 別		
		表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと
問 題 数	2 0	4	1 1	5	7	6	7
+ 10% 以上	6	1	4	1	2	3	1
± 10% 内	1 2	2	6	4	4	3	5
- 10% 以下	2	1	1	0	1	0	1

(2) 考察

全体について

ア 全般的には「理解の能力」「知識・理解」においてはおおむね良好である。

イ 「表現の能力」においては、良好であるとはいえない。特に、「正確な筆記」に課題がある。

成果

ア 各校で、「聞くこと」「読むこと」の日常の指導状況が良好であることがうかがえる。

イ 1 日 1 文 3 単語運動の取り組み等により、「書くこと」についての意識が高まり、特に、「まとまりのある英文」を書くことにおいて改善が認められる。

課題

ア 「聞くこと」において、質問や依頼などに対して、適切に応じる力が十分身に付いていない。

イ 「書くこと」において、文法にしたがって正確に筆記する力が十分身に付いていない。

(3) 今後の指導

ア 基本的な語彙や文構造の定着とともに、それを実際に活用してコミュニケーションを図るための指導の工夫が必要である。

・段階を踏んだパターンプラクティス等により、基本的な語彙や文構造の定着を十分に図り、それを実際に活用するコミュニケーション活動の場面を設定する。

・機械的な Q & A (一問一答) のコミュニケーションだけで終わることなく、答えの英文にもう一文を付け加えたり、実際に動作を入れて答えたりして、より実際の場面に近づけたコミュニケーション活動を工夫する。

イ 4 技能をバランスよく育成することが大切である。その際、4 技能を相互に関連付けるなど、指導の工夫が必要である。

・「聞く」「話す」等の音声によるコミュニケーション活動を重視しながら、他の領域（特に「書くこと」）とのバランスを図った指導を工夫する。

・「書いたこと」を基にコミュニケーション活動を図ったり、コミュニケーション活動で得た情報を「書いて」まとめたり、相互に関連付けた指導を工夫する。

・「知識・理解」のさらなる定着のために、特に「書くこと」においては 1 日 1 文 3 単語運動を引き続き推進し、短時間でも英語に触れる時間を日々設ける。

・対話文では、前後の文脈から話の概要や流れについて理解させ、文法にしたがって正しく書く活動を取り入れたい。その際、疑問文に関しては、答えの文から質問文を作る活動も有効である。

実際の指導例：(15)

「Question Bingo」～質問に対する「答え」を書いたピンゴシートを準備し、相手がシートに書いている英文を答えるような「疑問文」を考えて質問をする。終了後、疑問文を書く。

例えば、

Yes, he is.	Yes, she does.	
It's on the wall.	日付、天気 曜日他	

バスケットボール部の男子を指して、話し相手に「Is 名前 a basketball player?」と質問する。

クラスメイトの女子を指して、話し相手に

「Does 名前 live in ~?」と質問する。

教室内で壁にあるものについて、話し相手に

「Where is the clock?」と質問する。

* その他、シートには「A L T と T T の際は A L T の誕生日」「学習日の日付、天気、曜日」などを入れることも有効である。単元で学習した後も、繰り返し既習事項を学習する手立てを日々の授業で工夫する。

平成20年度中学校学習状況調査 第2学年 英語 評価規準と評価の観点

領 域	内 容	評 価 規 準		通し番号	観 点		
					表 現	理 解	知識・ 理解
聞 く こ と	ア(イ)	[正確な 聞き取り]	・聞いた内容について正しく内容を聞き取ることがで きる。	(1 (2 (3			
	ア(イ)	[適切な 聞き取り]	・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることがで きる。	(4 (5			
	ア(ウ)	[適切な 聞き取り]	・質問や依頼などに対して、適切に応じることができ る。	(6 (7			
読 む こ と	ウ(ウ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8			
	ウ(ウ)	[適切な 読み取り]	・書かれた情報について大切な部分を読み取ることが できる。	(9 (10 (11			
	ウ(エ)	[適切な 読み取り]	・伝言や手紙などに対して、適切に応じることができ る。	(12			
	ウ(ウ)	[言語について の知識・理解]	・場面や状況にふさわしい表現を知っている。	(13			
書 く こ と	エ(ウ)	[正確な 筆記]	・文法にしたがって正しく書くことができる。	(14 (15 (16			
	エ(ウ)	[適切な 筆記]	・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができ る。	(17			
	エ(ウ)	[言語について の知識・理解]	・文構造についての知識がある。	(18 (19 (20			

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 64.8%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0%100%
(1)	(聞)月日, 曜日の聞き取り	96.3%	85.0%	
(2)	(聞)状況の聞き取り	99.8%	85.0%	
(3)	(聞)所持品の聞き取り	98.5%	85.0%	
(4)	(聞)バス利用の理由の聞き取り	79.8%	70.0%	
(5)	(聞)話題の聞き取り	84.8%	85.0%	
(6)	(聞)友達の返答への適切な対応	42.7%	65.0%	
(7)	(聞)友達の返答への適切な対応	83.6%	70.0%	
(8)	(読)カード内容の読み取り	83.9%	75.0%	
(9)	(読)体験内容の読み取り	63.6%	65.0%	
(10)	(読)体験内容の読み取り	65.6%	65.0%	
(11)	(読)仕事内容の読み取り	28.4%	60.0%	
(12)	(読)時刻表を見ての適切な行動	58.7%	65.0%	
(13)	(読)自然な対話の組み立て	70.1%	80.0%	
(14)	(書)行動した理由を尋ねる表現	19.6%	60.0%	
(15)	(書)状況を述べる表現	34.6%	60.0%	
(16)	(書)明日の予定を述べる表現	53.1%	65.0%	
(17)	(書)まとまりのある英文	58.2%	60.0%	
(18)	(書)助動詞を用いた疑問文	65.4%	75.0%	
(19)	(書)SVOOの平叙文	72.8%	65.0%	
(20)	(書)疑問詞で始まる疑問文	37.1%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

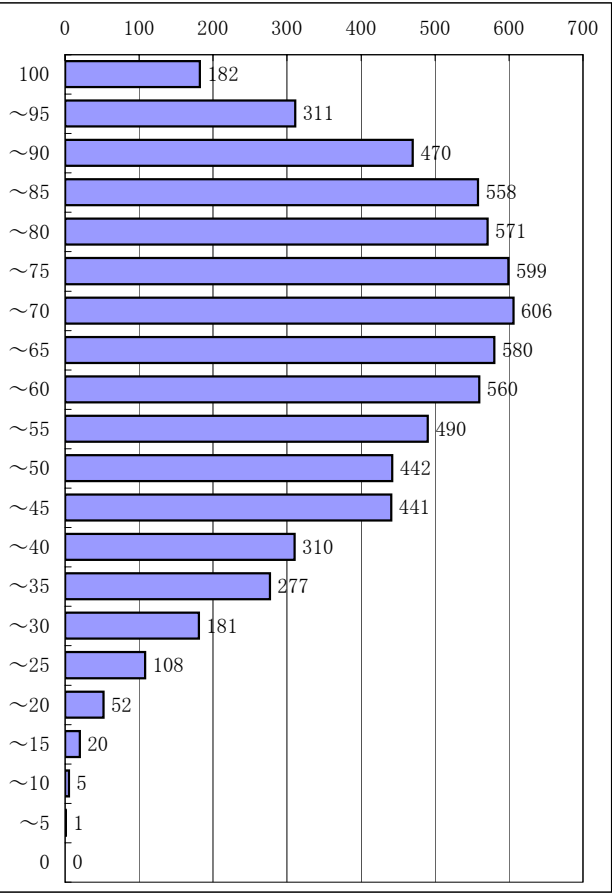
中学校2年 英語

小問別反応率

通し番号	1 (通過率)	2 (誤答)	3 (未記入)	4 (未履修)
(1)	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%
(2)	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%
(3)	98.5%	1.5%	0.1%	0.0%
(4)	79.8%	20.1%	0.1%	0.0%
(5)	84.8%	15.0%	0.2%	0.0%
(6)	42.7%	57.2%	0.1%	0.0%
(7)	83.6%	16.3%	0.1%	0.0%
(8)	83.9%	16.0%	0.0%	0.0%
(9)	63.6%	29.5%	6.9%	0.0%
(10)	65.6%	22.7%	11.7%	0.0%
(11)	28.4%	52.8%	18.8%	0.0%
(12)	58.7%	40.5%	0.8%	0.0%
(13)	70.1%	29.7%	0.3%	0.0%
(14)	19.6%	68.3%	12.1%	0.0%
(15)	34.6%	55.3%	10.1%	0.0%
(16)	53.1%	41.1%	5.8%	0.0%
(17)	58.2%	33.2%	8.6%	0.0%
(18)	65.4%	33.2%	1.3%	0.0%
(19)	72.8%	25.4%	1.7%	0.0%
(20)	37.1%	61.6%	1.4%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	30	89	57	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95～100%	56	13	44	7	16	0	6	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
90～95%	13	0	1	11	28	0	13	17	1	2	0	0	3	0	0	3	1	3	10	2	0
85～90%	3	0	0	18	29	0	23	27	4	3	0	0	6	0	0	3	1	3	16	1	1
80～85%	0	0	0	29	15	0	30	32	7	7	1	1	11	0	0	5	7	7	11	6	2
75～80%	0	0	0	15	9	1	18	17	8	12	0	2	22	0	1	1	7	13	14	1	5
70～75%	0	0	0	12	3	2	8	5	13	13	0	6	20	0	1	6	12	8	10	3	16
65～70%	0	0	0	5	0	1	3	1	22	18	1	13	13	3	0	11	5	11	14	3	29
60～65%	0	0	0	1	0	6	0	0	12	17	1	26	7	1	2	10	9	21	2	7	25
55～60%	0	0	0	2	0	8	0	0	18	17	3	24	6	2	3	4	16	18	6	3	20
50～55%	0	0	0	1	0	8	0	1	7	8	3	17	4	3	3	12	8	7	4	7	4
45～50%	0	0	0	0	0	19	0	0	5	3	4	6	6	2	10	11	7	4	4	3	0
40～45%	0	0	0	0	0	14	0	0	3	0	5	5	4	1	13	15	8	5	2	4	0
35～40%	0	0	0	0	0	13	0	0	2	1	7	1	0	4	12	10	4	2	2	7	0
30～35%	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	20	1	0	5	15	5	7	0	4	7	0
25～30%	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	12	0	0	8	12	3	2	0	1	7	0
20～25%	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	22	0	0	5	12	2	4	0	0	8	0
15～20%	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	15	0	0	16	12	1	1	0	0	9	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	17	4	0	1	0	0	11	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	25	0	0	0	0	0	8	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10	2	0	0	0	0	5	0
計	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102

※1学年20人以上データを提出した学校

中学校2年 英語 調査結果の考察

(1) 設定通過率との比較

	全 体	観 点 別			領 域 別		
		表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと
問 題 数	20	4	12	4	7	6	7
+10%以上	4	0	4	0	4	0	0
±10%内	10	1	6	3	2	5	3
-10%以下	6	3	2	1	1	1	4

(2) 考察

全体について

ア 「理解の能力」「知識・理解」においては、おおむね良好である。

イ 「表現の能力」においては、良好であるとはいえない。特に、「正確な筆記」に課題がある。

成果

ア 各校で、「聞くこと」「読むこと」の日常の指導状況が良好であることがうかがえる。

イ 「まとまりのある英文」を書くことにおいて、ここ数年、継続して改善が認められる。

課題

ア 「聞くこと」において、質問などに対して適切に応じる力が十分身に付いていない。

イ 「読むこと」において、代名詞が何を指すか正確に読み取る力が身に付いていない。

ウ 「書くこと」、特に様々な疑問文やその答えを書く場合、文法に従って正確に筆記する力が十分身に付いていない。

(3) 今後の指導

ア 日常生活の中で行われる相手からの質問や指示、依頼、提案などに対して、その意図を正しく理解し、適切に応じることができるよう指導を工夫する。

・意味に重点をおいたインタラク션을日々行う中で、例えば Do you have a watch? という同じ問いかけであっても、場面や状況によって Yes や No で答える場合もあれば Well, it's about noon. などと答える場合もあるということに気付かせる。

イ 代名詞や次の指導例に挙げた his dream などの語句が具体的に何を指すかを適宜確認するなど、正確な読み取りのための基本的な指導を徹底する。

・代名詞や his dream などの語句が指している部分（語、句、または文）に下線を引かせるなど、生徒自身がその理解を視覚的に確認できるような指導を工夫する。

ウ 正しい語順や語法を用いて文を「書くこと」ができるように指導を工夫する。

・1日1文3単語運動を引き続き推進し、正しい語順や語法を身に付けさせる。

・「話すこと」とも結び付け、例えば生徒同士対話をさせる際には、相手が話した内容について質問をしようように指導するなど、生徒が様々な疑問文を使う必要性を高める。

・様々な疑問文を生徒が自信をもって使えるように、英文の主語や目的語、あるいは場所や時を表す副詞句を尋ねる場合の疑問文の作り方を繰り返し練習させ、定着を図る。

実際の指導例：(11)

次の下線部が指している部分に下線を引きなさい。

Kawai Junichi is a junior high school teacher in Shizuoka. He wanted to be a teacher, but he lost his sight at fifteen. He never gave up his dream. ~

(Sunshine 2, Program 7 Reach for Your Dream.)

実際の指導例：(14、(15、(20

次の下線部 ~ をそれぞれ尋ねる疑問文を書きなさい。

・ Tom went to the station yesterday to meet his friend.

・ Tom likes music.